

## 行橋市・苅田町との水道事業における広域連携の検討状況について（報告）

### 1 経緯

北九州市上下水道局は、北九州都市圏域の中核都市として、近隣市町と水道事業における多様な広域連携を進めている。

平成29年度からは、北九州都市圏域の水道事業者を中心に「水道広域セミナー」や「広域連携に関する勉強会」を開催するとともに、近隣市町との個別協議を積極的に行っている。

中でも、行橋市及び苅田町とは、令和元年の渇水時において技術協力するなど、連携を深めており、令和2年2月には、両市町と「緊急時の相互応援」や「広域連携の推進」を内容とする「技術協力に関する協定」を締結した。

この協定締結を契機に、令和2年度、本市と行橋市、苅田町の3者共同で「水道事業における広域連携に係る基礎調査業務委託」を実施し、多様な広域連携の可能性について調査したところである。

この中で、本市による行橋市及び苅田町への水道用水供給事業について、事業計画等の検討を進めていたが、令和4年2月末、両市町から水道用水供給事業の具体化に向けた検討についての要望があった。

本市としても、本事業は3者それぞれに効果が期待できる連携方策であることから、令和4年度から具体化に向けた詳細な協議・検討を開始することとした。

### 2 水道用水供給事業の概要

	計画水量(m <sup>3</sup> /日)	施設整備		備考
	R10年度以降	概要	事業費	
行橋市	5,000～10,000	送水管	約40億円	苅田町は緊急時 4,000m <sup>3</sup> /日増量
苅田町		φ300～500 L≒15km等		

### 3 見込まれる事業効果

- (1) 本市の効果：既存の水道施設利用により水道事業の固定費負担の軽減
- (2) 両市町の効果：安定水源の確保、老朽化した浄水場の廃止による更新費用及び維持管理費用の削減

### 4 今後の予定

本事業の具体化にあたっては、「水利使用許可」「認可変更」「国・県の財政支援などの財源確保」「施設整備費の縮減」などの課題がある。

今後は、広域連携の推進役である福岡県や関係機関との協議・調整を進めていくとともに、令和4年度予算では3者共同で工法検討業務委託を予定している。

## 5 その他の広域連携

- (株)北九州ウォーターサービスを活用した各種計画策定、給水装置受付審査
  - 市内企業を活用したマッピングシステムの共同化
- など可能性を継続検討

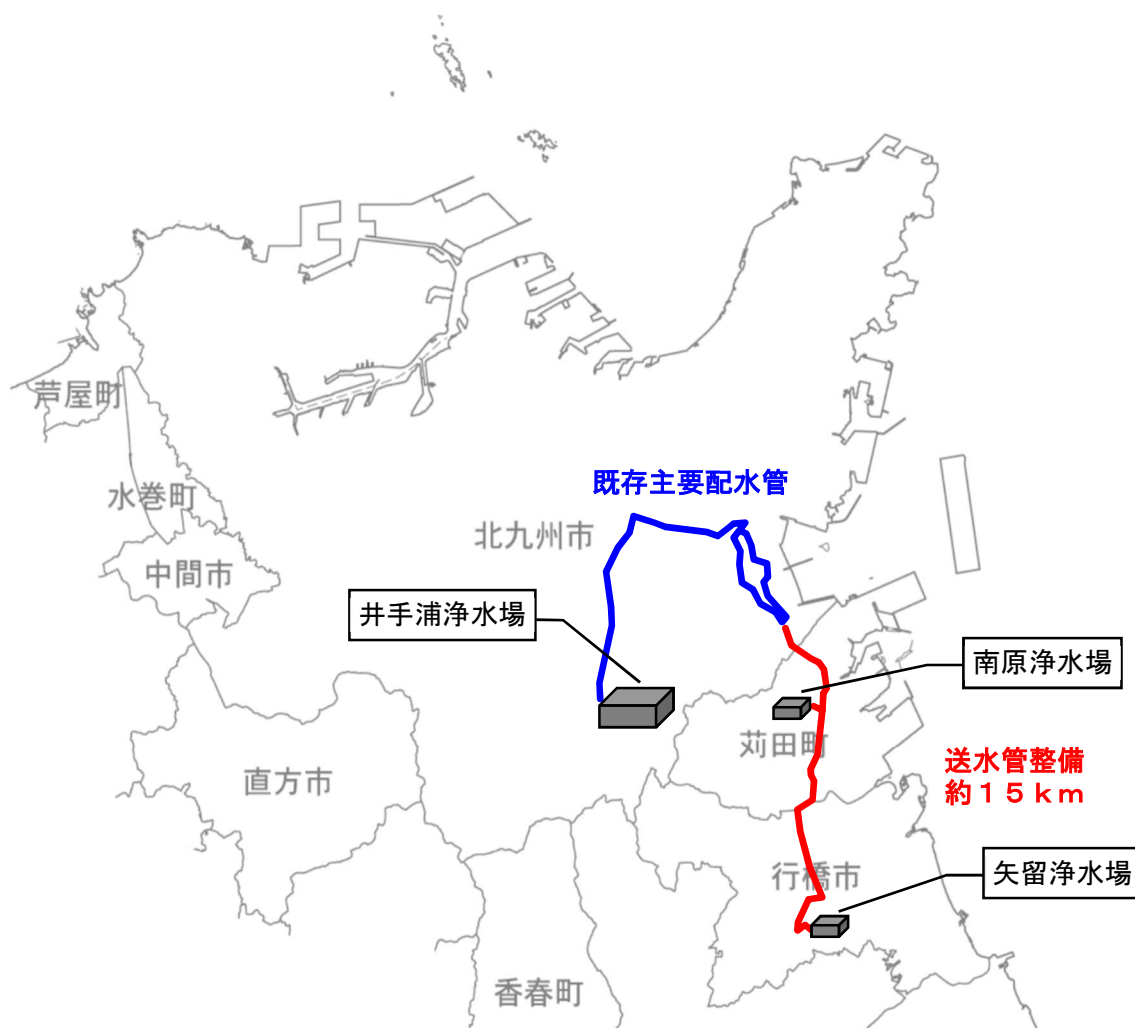


図 送水管整備概略図

### <参考>水道事業の諸元

(令和元年度「福岡県の水道」より)

項目	苅田町	行橋市	北九州市 <sup>※1</sup>
行政区域内人口 (人)	37,361	70,939	976,506
給水人口 (人)	36,152	56,184	972,114
1日最大給水量 (m <sup>3</sup> )	12,374	19,332	321,317
年間給水量 (千m <sup>3</sup> )	3,834	6,372	108,554
有収率 (%)	93.5	86.1	90.2
水道料金 (税込み) <sup>※2</sup>	3,380 円	4,020 円	2,200 円

※1：北九州市については芦屋町・水巻町を含む

※2：20m<sup>3</sup>使用した場合の水道料金